

研修から見える社会科の授業改善の視点

1 はじめに

今回は、多くの先生方が社会科指導上の悩みとして挙げる「地域素材の教材化」に焦点を絞りました。そこで中学校経験者研修Ⅱ（10年研）で行っているフィールドワークについて紹介します。

2 研修の内容

(1) 地域

教育センター周辺（福島市瀬上町）

(2) 史料

神社・寺院等の史跡、地形図、古文書

(3) 活動

- ① 神社・寺院等の史跡見学から瀬上町の歴史について学ぶ。
- ② 町名発見（町名表示確認）から瀬上町の歴史について学ぶ。
- ③ 地形図の読みとりから瀬上町の歴史について学ぶ。
- ④ 目の前にした史料と古文書との照合から瀬上町の歴史について学ぶ。



足守藩陣屋跡

3 参加者の感想

- 有名な信達一揆にかかわる史跡をたどれたのでよかった。限られた地域でもいろいろな史跡があったので、今後は学区内の史跡を探すことも頑張りたいと思った。
- 自分の足で歩き、細かいところに目を配り、教材になりえるヒントを見つけることの大切さを改めて学ぶことができた。
- 実際に歩いてみることで、町の空気や地理的特徴を肌で感じることができた。地図で想像し、目で確かめることの重要性に改めて気が付いた。
- 地域調査を実施すると、子どもよりも地域を知らないということが多く、日ごろより地域素材を見つけようとする姿勢と目を養っていきたい。



伊達政宗が馬をつないだとされるいちようの木

4 おわりに

時間を生み出して外に出てみましょう。地図やカメラを持って意識的に歩き、お寺があったら、御住職に地域の歴史について尋ねてみたり、碑文があったら文章について調べてみたりしましょう。市史や町史・村史なども有効に活用してはいかがでしょうか。

我々は、忙しさに流されて、気が付くと地域（校区）について余りにも無知で、教材化を図ろうとしたとき「どうしていいのかわからない。」「何も知らない。」ということになりがちですね。社会科の教員であれば、地域（校区）のことに詳しい存在でありたいものです。

地域素材を取り上げる視点

- 1 学習する子どもたちの立場からの素材の検討
 - ① 子どもたちにとって、興味・関心を持って、意欲的に取り組める素材か。
 - ② 子どもたちの生活経験に根ざし、観察や体験などの活動を通して、実践的に学ぶことができる素材か。
 - ③ 学ぶことにより、喜びや感動が味わえる素材か。
- 2 指導する教師の立場からの素材の検討
 - ① 本時の目標に即している素材か。（学習指導要領）
 - ② 子どもたちが解決可能な問題を含んでいる素材か。
 - ③ 具体的な素材か。